

アジ研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

特集 変わる世界、変わる研究

3・4

合併号

2018
No.269

分析レポート ●若年層の経済的自立と家族形成の状況に関する日韓比較

フォトエッセイ ●ベトナム——時の奔流の中で——



IDE-JETRO

1 巻頭エッセイ／世界が変わり、研究が変わり、アジ研も変わる

平野 克己

特集／変わる世界、変わる研究

2 特集にあたって——変わる世界のなかで共鳴する研究——

佐藤幸人

3 座談会／現実と研究の間を往きかう

菊池啓一、佐藤百合、武内進一、山田七絵

11 1990年代以降のアメリカのアジア研究——研究と実践に携わるものの目からみて——

トンチャイ・ウィニツチャクン（佐藤幸人訳）

地域編

14 韓国経済研究——日本との間合いから変わる認識——

安倍 誠

16 日本における中国研究の「目線」の変化

丸川知雄

18 中国政治研究——多種多様なアプローチの模索——

佐々木智弘

20 ポスト・キャッチアップ期、ポスト民主化期の台湾研究

佐藤幸人

22 等身大のASEAN像とは？

鈴木早苗

24 メコン地域開発研究

青木まき

26 外国人によるベトナム経済研究——開かれた経済と研究環境——

藤田麻衣

28 ラオス政治研究——ニッチから脱却し他地域・他国研究との対話へ——

山田紀彦

30 現実と向かい合うインド政治研究

近藤則夫

32 バングラデシュ独立戦争研究の現在——記憶の継承と学術的意義——

村山真弓

34 エジプト経済政策研究の変遷——誰のための研究か——

土屋一樹

36 サブサハラ・アフリカ地域における開発経済学——研究は地域をみているか——

福西隆弘

38 アジ研におけるアフリカ研究の特徴と変遷——研究双書を題材に——

佐藤千鶴子

40 開発モデルの転換と民主化がラテンアメリカ研究に与えた変化

坂口安紀

42 変貌するラテンアメリカのファミリービジネス——あとを追う研究——

星野妙子

ディシプリン／トピック編

44 国際機関が求める研究——レーゾンデートルの証明——

山形辰史

46 経済協力研究と社会開発研究

佐藤 寛

48 環境・持続可能性研究の広がり課題

小島道一・大塚健司

50 国際産業連関分析——ビフォー&アフター——

猪俣哲史

52 経済地理研究とアジア経済研究所

熊谷 聡

54 ASEAN経済共同体と経済統合研究

梅崎 創

56 農業、農村の変化と技術進歩に関する研究展望

伊藤成朗

58 産業・企業研究——「産業ヘゲモニー」と発信力の移り変わり——

川上桃子

60 金融研究の視点——マクロからミクロ、そしてデジタルへ——

濱田美紀

62 労働研究——経済の国際化と技術革新を巡る議論——

佐藤仁志

64 変容する人の移動と移民研究

網中昭世

66 ジェンダー研究と開発援助政策——メインストリーム化をめざした50年——

児玉由佳

68 「障害と開発」研究——誰一人取り残さないために——

小林昌之

70 政治学における「因果推論革命」の進行

粕谷祐子

72 新興民主主義における政党制の研究——民主化の第三の波から30年——

間 寧

74 「アジア法」研究の定着

今泉慎也

フォトエッセイ

76 ベトナム——時の奔流の中で——

寺本 実

分析レポート

80 若年層の経済的自立と家族形成の状況に関する日韓比較

渡邊雄一

連載／世界珍食紀行 第14回

88 「物価高世界」の地、アンゴラへ——ポルトガル・ワインの悲願の進出——

網中昭世

ライブラリ・コーナー

89 アジア情報研修の開催報告——台湾の商業統計を例に——

澤田裕子

90 アジ研だより

〔表紙写真〕

深圳のコンベンション・センターからの眺望（撮影：木村公一朗）

本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

2019年度 日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究マネージメント職(テニユア・トラック) 募集要項

日本貿易振興機構アジア経済研究所では、以下の要領で研究マネージメントに従事する職員の募集を行います。

※テニユア・トラック：原則3年の任期付採用の後、勤務状況および業績に応じ最終的な審査を経て任期を定めない職員として雇用する制度。

職務内容

研究所各部署と協働しつつ、主に次の業務を行う。

- ・政策担当者、有識者等の外部ニーズの把握
- ・海外研究機関（欧米シンクタンク・大学等）とのネットワーキング
- ・政策提言研究や国際機関等との連携研究の企画・調整
- ・ウェブ、海外シンポジウム等における機動的・効果的な研究所広報
- ・メディアにおける発信力の向上
- ・これらの活動に活用可能な外部資金の獲得
- ・上記業務に付随する研究所内外との連絡・調整事務

なお任期を定めない職員として雇用された後には、海外の大学・国際機関等へ派遣することがあります。

応募資格

1. 研究事業の企画・調整、研究所の広報、海外研究機関とのネットワーキング、外部研究資金の獲得などに関心があること。
2. 海外研究機関、国際機関等との交渉、協定文案作成・調整、その他協議連絡等に十分通用する英語力を有すること（TOEIC900点以上を目安とする）。
3. 研究所の業務全般を円滑に行える日本語能力（業務遂行に必須の文章力、交渉力、プレゼンテーション能力等）を有すること。
4. 周囲との協力により目標を達成する協調性、柔軟性、社会性を有すること。
5. 修士号以上の学歴を有することが望ましい。
6. 企業・団体等における勤務経験があることが望ましい。

募集人員

若干名。

応募手続

1. 受験者登録

以下URLの応募フォームより受験者登録を行い、受験者番号を取得して下さい。（ウェブ登録後、登録されたメールアドレスに受験者番号が通知されます。）

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/rpd/management2019>

2. 応募書類の提出

下記提出先へ①～④を郵送。提出の際には封筒の表に「研究マネージメント職 受験者番号〇〇 応募書類在中」と朱書。

① 履歴書（写真貼付。指定様式をウェブサイト（<http://www.ide.go.jp>）からダウンロードして使用のこと。）

② 職務経歴書（様式自由。学会発表、インターン経験など含めて可）

③ 志望動機書（A4利用紙一枚程度）

④ 学業成績証明書（学部以上すべての証明書、1年以内に発行されたもの）

⑤ 卒業・修了証明書（学部以上のすべての証明書、1年以内に発行されたもの）※最終面接時に提出

※応募書類は返却いたしません。

募集期間

2018年3月1日（木）から2018年5月31日（木）17時00分まで＜書類必着＞

選考

① 第1次選考：書類審査

② 第2次選考：一次面接

③ 第3次選考：プレゼンテーション試験および最終試験

※面接にかかる交通費は支給しません。

訂正とおわび

2018年2月号に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

51ページ左側下から3行目

（誤）第一次世界大戦を終焉に向かわせる方法を探ることを目的に1910年にカーネギー国際平和基金が立ち上げられた。

（正）国際平和と第一次世界大戦の勃発を防ぐことを目的に1910年にカーネギー基金が立ち上げられた。

勤務開始・勤務場所

勤務開始：2019年4月1日（予定）

勤務場所：原則として当研究所（千葉市美浜区）

待遇

勤務時間：1日7時間45分、昼休み1時間 9：30～18：15。

（但し、8:30～17:15、9:00～17:45、10:00～18:45も選択可）

給 与：テニユア・トラック期間中は年俸制

※モデル年収例 530万円 経験8年／大卒・本部勤務の場合、残業代・通勤手当除く

休 日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始

休 暇：年次休暇、夏季休暇、その他休暇（慶弔、出産、育児、介護等）

福利厚生：各種社会保険完備、年金基金、独身寮・世帯寮（一定の条件あり）ほか
そ の 他：本機構の規程による。

応募書類の提出先

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2

日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究企画部 研究人材課

問合せ先

日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究企画部 研究人材課 職員採用係

Email: ide-recruit@ide.go.jp

TEL: 043-299-9528 FAX: 043-299-9724

※お問合せはできるだけ上記メールアドレス宛にお願いします。なお、選考結果・過程については一切お答え出来かねます。

個人情報の取り扱いについて

募集に際して提出していただいた書類は、独立行政法人 日本貿易振興機構個人情報保護規程に則り厳重に管理し、採用審査以外の用途に使用することはありません。また、これらの個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与を行うことは一切ありません。

個人情報保護管理責任者：研究企画部 研究人材課長

TEL: 043-299-9528

休刊のお知らせ

1995年の創刊以来、20年以上にわたり月刊誌として刊行してきました『アジ研ワールド・トレンド』ですが、本号をもちまして休刊することとなりました。読者の皆様にはこれまでご愛読いただき、心より感謝申し上げます。また、これまで弊誌の刊行にご協力いただきました執筆者の方々には改めて心より御礼申し上げます。今後、「分析レポート」など一部の記事につきましては2017年11月から当研究所ウェブサイトで配信を開始しました「IDE スクエア」のコーナーに場を移して公開する予定です。

『アジ研ワールド・トレンド』編集部

アジ研ワールド・トレンド

第24巻第3号 通巻第269号

2018年3月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究支援部

〒261-8545 千葉県美浜区若葉3丁目2番2

電話 043(299)9735 FAX 043(299)9736

ウェブサイト www.ide.go.jp

印刷・製本 株式会社アイネット

©日本貿易振興機構アジア経済研究所 2018年

アジア経済研究所出版物のご案内

植村仁一 編

『マクロ計量モデルの基礎と実績 ——東アジアを中心に——』

分析手法としてのマクロ計量モデルの歴史、構築のイロハから各国での活用例、大規模モデルへの発展まで、東アジアを中心として解説する。また、今後同地域が直面していくであろう高齢化といった問題を取り込む試みも行う。

(アジ研選書 No.47)

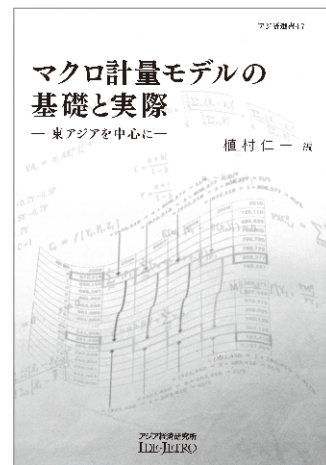
本体価格 2,600 円＋税

A5 判

204pp

2018 年 1 月発行

ISBN978-4-258-29047-5



はじめに

略語表

第 1 章 実用経済モデルの系譜と本プロジェクトの位置づけ / 田口博之、ブー・トゥン・カイ

第 2 章 マクロ計量モデルの概要 / 植村仁一

第 3 章 東アジア先発途上国のモデル事情——韓国・台湾を中心に—— / 渡邊雄一

第 4 章 後発 ASEAN 諸国を対象としたマクロ計量モデルの構築と利用事情
/ ケオラ・スックニラン

第 5 章 人口構成の変化を考慮した消費関数の検討 / 石田正美

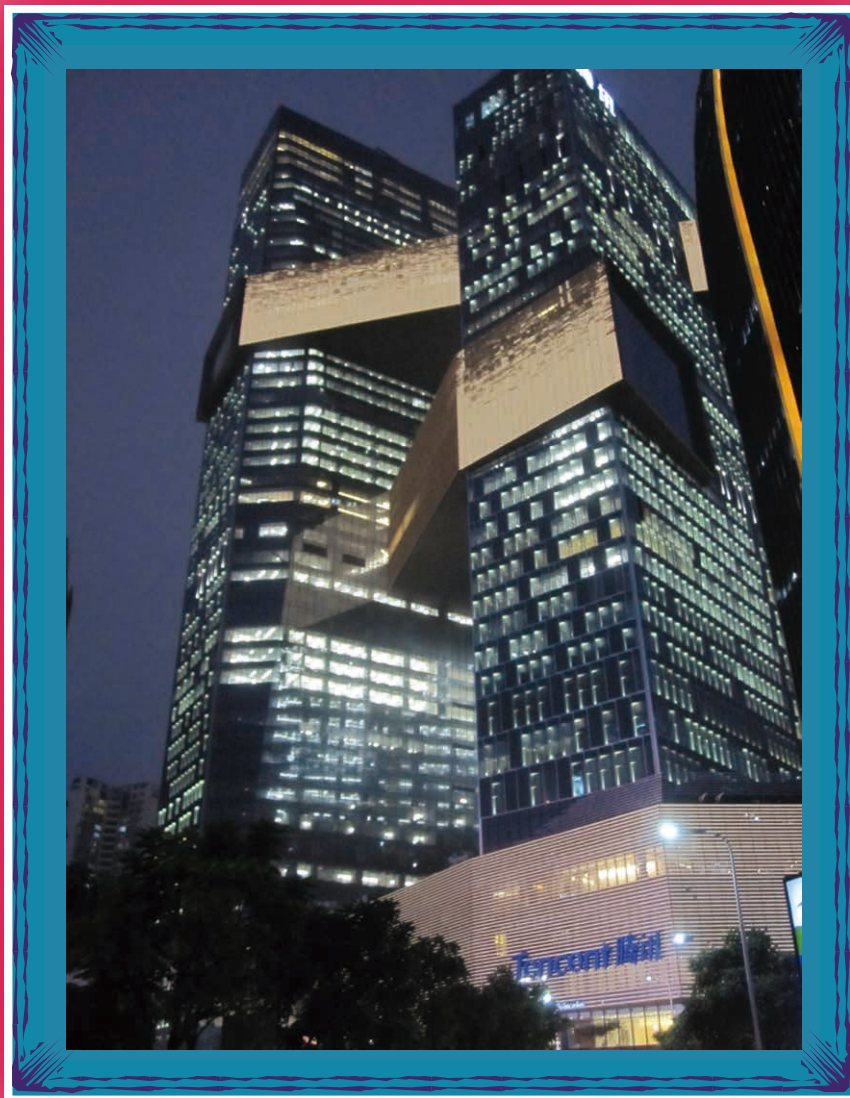
第 6 章 東アジア地域・貿易リンクモデル / 植村仁一

補遺 第 2 章 識別問題の例

補遺 第 5 章 人口データについて

補遺 第 6 章 ドル建てと各国通貨建て

索引



中国のインターネットサービス大手テンセント（騰訊）の新社屋
（撮影：木村公一朗）